

## 「青森ヒバ林復元プロジェクト連携推進協議会」 現地見学会を開催しました

令和3年10月6日（水）に、むつ市田名部の矢立山国有林において青森ヒバ林復元プロジェクト現地見学会を開催しました。

「青森ヒバ林復元プロジェクト」は、津軽・下北半島のスギ等の人工林内にヒバの発生が旺盛な箇所が多いことから、これらを上手に活用できないものかと平成28年東北森林管理局で立ち上げられました。

また、プロジェクトの普及啓発及び連携推進を図るため、平成29年には青森森林管理署が事務局となり、青森県内の学識経験者、地方自治体、林業関係団体、森林ボランティア団体等からなる「青森ヒバ林復元プロジェクト連携推進協議会」（委員13名）を設立しています。

この協議会では、プロジェクトの情報共有のほか、実際に様々な現場を見てご意見やご理解を頂くこととなっています。

協議会による現地見学会は3署（青森署・下北署・金木支署）の持ち回りで行われてきており、毎年様々な作業現場等を見て頂いているところですが、下北森林管理署での見学会開催は平成30年度に続き2回目となります。

今回は、スギ人工林で列状の間伐箇所と定性間伐（抜伐り）箇所をあらかじめ設定し、実際にスギを伐倒することで、ヒバに与える損傷の度合いを確認しながら意見交換を行いました。委員からは、「通常の間伐箇所では、スギをもっと伐って明るくした方がよいのでは。」などの意見がありました。

最後に、長江東北森林管理局次長から講評をいただき閉会しました。

今後も下北森林管理署ではヒバ林の復元に向けて取り組んでまいります。

### 【現地見学会の様子】



